

教科	科目	学年	単位数
家庭科	家庭基礎	2 年	2
使用教科書		副教材	
家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍）		最新 生活ハンドブック（第一学習社）	

1. 学習目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。

2. 評価の観点と方法

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 主に定期テスト・作品をもとに評価する。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。 主に定期テスト・ワークシート・調べ学習をもとに評価する。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。 主に提出物・持ち物・授業態度をもとに評価する。

3. 学習内容（以下の表を参照）

4. その他（科目の特徴や学習の注意点）

- ・毎日の生活そのものが学習題材となるので、身の周りのいろいろなものに関心を持って疑問や知りたいことを見つけましょう。
- ・家庭科は実習、発表など生徒自身が主体となる授業内容が多くあります。積極的に授業に取り組みましょう。
- ・授業で学んだことは、できるだけ自分の生活の中で実践してみましょう。

	月	単元・試験	授業内容	その他（到達目標・学習のポイントなど）
一学期	4月	家族・社会との共生 第1章 生涯を見通す	・家庭科を学ぶにあたって ・自分を見つめる	・学習の意義、内容、学習方法、評価の仕方を理解します。 ・ライフステージごとの特徴、課題を理解します。 ・自分らしさを発揮しながら男女が共生していく社会について考えます。
	5月	第2章 人生をつくる	・家族・家庭を見つめる ・家族と法律	・多様化する家族、家庭の役割、意義を学習します。 ・家族に関する法律について学習します。
	6月	第4章 高齢社会を生きる	・高齢期を理解する ・高齢者の心身の特徴	・いきいきと生きる高齢者の姿にふれ、高齢期を自分たちの将来としてとらえ前向きな展望を持てるようにします。 ・高齢者疑似体験を通して高齢者の心身の特徴や生活について客観的に理解します。
	7月		・これから的高齢社会	・高齢者を支えている社会の仕組みやサービスについて学びます。
		期末試験		

二学期	9月	第3章 子どもと共に育つ	・子どもの育つ力を知る	・子どもの身体、心、遊びの発達について学びます。 ・子どもの生活リズム、食生活、衣生活、健康と安全について学びます。 ・現代の子育て環境について考えます。 ・子どもの喜ぶおもちゃを制作します。 ・幼児との触れ合いから、子どもへの理解を深めます。
	10月	生活の自立	・これからの保育環境 ・子どもと関わる (幼稚園訪問、交流体験)	
	11月	第6章 食生活をつくる	・食生活の課題について考える ・食事と栄養・食品 ・食生活の安全と衛生 ・生涯の健康を見通した食事計画	・食生活診断をして、自分の食生活の問題点について考えます。 ・食生活の変化をとらえ、豊かな食生活の意味について考えます。 ・五大栄養素のはたらきやそれらを多く含む食品について学習します。 ・食の安全について消費者として知っておくべき知識を身につけます。 ・食事摂取基準、食品群別摂取量、成分表の活用の仕方を学びます。
	12月	期末試験	・調理実習（3回）	※調理実習用のエプロンの製作をします。 ・基本的な調理計画、調理の流れ、エコクッキングを取り入れた調理法を学びます。
三学期	1月	第9章 経済生活を営む	・お金を計画的に使う ・現代の消費社会	・家庭の収入と支出、またライフステージごとの家計について学びます。 ・契約・消費者問題・消費者の権利と責任について理解します。また、金融資産の運用についての知識を身につけます。
	2月		・これからの消費生活と環境	・環境に優しい行動を実践する中でグリーンコンシューマーとして生活できるような能力を身につけます。
	3月	第8章 住生活を営む 学年末試験	・住生活について考える ・平面図から空間や生活を読み取る ・住生活の計画と選択	・住居の機能と歴史、気候風土と住まい方について学習します。 ・平面図の読み方を学習し、物件情報を読み取る力を身につけます。 ・将来のライフスタイルをイメージし、住生活の計画を立てます。

※被服製作、調理実習については実習室使用の都合上、クラスごと実施時期の調整をします。